

Weekly Report



創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：湯澤 信雄
 幹事：山口 哲司
 クラブ広報委員長：鈴木 実
 例会日：毎週木曜日PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
 名古屋市中区栄1丁目3-3
 AMMNビル7F
 TEL：052-211-3803
 FAX：052-211-2623
 E-MAIL：2760_nagoya@mizuho-rc.jp
 URL：http://www.mizuho-rc.jp/

ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度
 国際ロータリーのテーマ
 ロータリーは機会の扉を開く
 (ROTARY OPENS
 OPPORTUNITIES)

2020-21年度
 名古屋瑞穂ロータリークラブ
 会長のテーマ
 「原点に戻ってロータリーを楽しみ、
 力を発揮しよう」

第1937回例会

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2020年10月1日(木) 晴 第11回

司会：北岡 寿人 会場副委員長
 歌：「君が代」「奉仕の理想」

会長挨拶

湯澤信雄会長

こんにちは!!先週は梅村副会長に挨拶をお願いしましたので、久しぶりの会長挨拶です。早いもので今日から10月。秋本番となりました。ここ数日「秋晴れ」のさわやかな日が続いています。

私は、日本の四季の中で「秋」程いろんな枕言葉といえますか、なんとかなの…秋と付いている季節は無いのではと思います。

例えば、「食欲の秋」「読書の秋」「芸術の秋」「スポーツの秋」「睡眠の秋」など数えればきりがありません。「秋の夜長」という言葉も良く使われてますし、今日は1日8月15日→15夜→中秋の名月という事です。今年は残念ながら中止になってしまった、友好クラブ福岡西RCさんのお見舞いに代表されます「中秋の名月」という言葉もよく耳にいたします。また、空も澄み渡って、爽やかな季節を代表する言いまわしで、「天高く馬肥ゆる秋」も良く耳にされると思いますが、この言葉の意味として、「秋は空が澄み渡って高く晴れ、馬は肥えてたくましくなる」というような解釈をされていると思いますが、「馬肥ゆる」にはもっと深い意味があるようです。昔、漢の時代の中国では、こわいこわい北方の騎馬民族が夏の間に肥えて太らせた馬にのって、秋に収穫したものを奪いにくるぞ…という警戒の戒めだったようでありました。

また、松尾芭蕉の晩年の句で「秋深き 隣は何をする人ぞ」という有名な俳句があります。私は「秋深し」だと覚えていたのですが、「秋深き」が正しいようです。秋が一層深まって来て一人寂しさが感じられる中、かすかにきこえてくる物音に隣の人は、何をやる人であろうかと、人懐かしい感じがします。たまたま縁があって今隣にいるけれど、こうして秋はゆっくりと暮れていってしまふ。人生もたまにこうしてても静かにくれていってしまふ。秋は悲常にも悲しい季節でもあります。おいしいものを食べつつ、名月を眺めながらにか新しいことに挑戦したり、趣味に没頭する季節にしては、いかがでしょうか!!

出席報告

今川知也出席委員

会員70名 出席55名(出席計算人数52名) 出席率 84.6%

ニコボックス

今川知也ニコボックス委員

- ・お久しぶりです。
敬老の品。ありがとうございました。
7月31日で満93歳になりました。 鈴木 圓三さん
- ・9月は誕生月でした。先週ニコでメッセージを入れ忘れまして。
歳を重ねる事を気にしない事は良くない事です。きつと。 関谷 俊征さん
- ・先日9月30日は38歳の誕生日でした。
お祝いありがとうございました。 杉山 裕一さん
- ・今日から弊社60年目に入ります。 堀 慎治さん
- ・今年の夏は長かったですね。やっと朝夕涼風が立つようになりました。
(秋きぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬ) 岩本 成郎さん
- ・卓話よろしくお願いします。 内藤 晶文さん
- ・瑞穂RCの皆様のおかげで、本日晴天の中、あつた朝日市を開催できました。 鈴木 淑久さん
- ・内藤さん、イニシエーションスピーチ頑張ってください。

湯澤 信雄さん 原田 敬生さん 岡部 光邦さん
 新見 光治さん 長谷川 隆さん 近藤 茂弘さん 松田 浩孝さん

10月お誕生日おめでとう

内藤 晶文さん 長谷川 隆さん 梅村 昌孝さん 新見 光治さん 鈴木 実さん

幹事報告

山口哲司幹事

- ・例会後、13:40より、理事会がヒルトン4階「杉の間」にて行われますので、よろしくお願ひ致します。
- ・次週、10月8日(木)は、親睦例会の予定でしたが、通常例会へ変更となっております。内容は、ガバナー公式訪問中止による映像視聴と、事務局にある台北延平RCより頂いた品のオークションを予定しております。時間も12:30から5階「銀扇の間」へ変更となっております。お間違えの無いようお願いいたします。
- ・11月事務所引越しに向けて過去の書類を廃棄していく予定です。10月上旬の例会後、委員長及び同好会関係者は、事務局にある資料をご確認いただき、廃棄してよいもの等事務局までご連絡いただけますよう、ご協力をお願いいたします。
- ・10月4日(日)13:00より、40周年記念による楽器寄贈についての演奏会が名古屋女子高等学校にて行われます。詳細は、事務局までお問い合わせください。
- ・次々週は、休会となります。

卓話

内藤晶文さん

イニシエーションスピーチ

皆さんこんにちは。内藤晶文です。よろしくお願ひします。私の経歴ですが、1970年に千種区で生まれました。御器所小学校、桜山中学校、日進西高校を出ております。一年間浪人してまして、愛知学院大学 商学部 商学科を出ております。その後1年間就職せずに遊んでおりました。夏はニュージーランドでスキー、冬はニセコに住んでスキーをして遊んでました。その後、中日ジューク株式会社という会社で、カラオケのリース、レンタル、カラオケボックスを経営していたり、飲食店とひとついた複合施設を経営している会社に就職しまして、そこで3年間勤めました。25歳頃にその会社を辞めまして、26歳の時にエアコンのアルバイトをしながら、夏はニュージーランドで、冬はニセコに住んでスキーをしていました。28歳頃にエアコンのアルバイトをしていたので、成り行きでエアコンの仕事を開業することになり、28歳の頃にエアコンの掃除の仕事をやるようになりました。相変わらず夏はエアコンの仕事を一生懸命やって、冬はニセコに住むという生活をしておりました。30歳頃にエアコンの修理や工事も始めるようになり、エアコンの修理や工事をやりながら、以前勤めていたカラオケボックスの社長と再び出会いまして、以前勤めていた会社の仕事も受けるようになりました。その頃にまたそれとは別に、ある経営者からお前やってみないんだったらやってみると言われたので、カラオケボックスを私自身で3年間経営しまして、その後元の経営者にお返ししました。それからエアコンの仕事を集中してやるようになりました。40歳頃に会社を法人化したしまして、50歳で現在に至るというのが私のだいたいの流れです。

小学生の時から話しますと、習字、水泳、吹奏楽、サッカー、公文など兄と弟がいるので、兄達の真似をして色々やったのですが、私はほとんど続かなくてだいたい辞めてしまいました。ですが、少林寺拳法だけは小学校3年生から中学校3年生まで続き、初段まで取ることができました。大人になって自分に自信が付きまして、やってよかったなと思いました。

私は今までにいっぱい失敗をやらかしています。小学校の頃のエピソードです。私、妻はいるのですが、子どもはいないの教えて欲しいのですが、子供って何歳ぐらいから嘘つきますか?私は小学校4年生の時に母に嘘をついたんです。その嘘は、夏休みにプールの授業があるんですけど、プールの授業に出たくないのサボったんです。母に内緒でプールの授業に行くと言ってプールのバックを持って家を出たのですが、当時マンションに住んでいてエレベーターで1階まで降りなければいけないのですが、上に上がって8階で時間を潰して家に帰りました。水着を洗濯機に入れて何食わぬ顔をしていたら、お母が「あんた学校行ったの」と言ってくるんです。怒られてちゃんと水泳に行く



ようになったのですが、何故ばれたかがどうしても知りたくて、次の日に母になんで分かったの?と聞いたら、「あんた、洗濯機に入れた水着が濡れてなかったよ」とわれまして、しまったなと思いました。そして、学んだことがあります。嘘をつくのは難しいということです。嘘をつくときはもっとしっかり考えて、いろんな事を想定しなければいけないということを学びました。

中学生の頃は、先程言った少林寺拳法を中学3年生までやっていたのですが、中学校の頃1年生から3年生まで新聞配達のアパートもしていましたが、きっかけを遡ると、小学5年生の時に転校生がやってきて、その子が寂しそうにしていたので、友達になることにしました。その転校生はちょっと悪い子だったので、二人でサッカーをサボってゲームセンターによく通っていたのですが、ゲームセンターの名前が「ロータリー」という名前だったと思います。それを考えると、間はあいていますが私はロータリー歴が長いのかもしれません。結局、新聞配達をやるようになったきっかけが、中学一年生で早々にその転校生が不良のグループに入ってしまったんです。厳つい格好をした5、6人のグループに入ってしまった。私は親友だったものですからいつも一緒にいたので、不良の仲間とわたしも一緒にいなければいけない状況になってしまっていて、どうしよう。この環境から逃げたい。と考えて、新聞配達をする事にしました。3年間やりまして、そこで自分で稼ぐ喜びを覚えました。

中学生の頃のエピソードがもう一つありまして、中学校に入っすぐ私の自転車盗まれたので警察に取りに行った際に、警察官に「朱に交われば赤くなるぞ」といきなり言われました。その言葉だけ凄く覚えているのですが、家に帰って母にどういう意味?と聞いたら「悪い人と一緒にいたら悪い人になっちゃうよ」と言われましてそれもあるって新聞配達をするようになりました。もしかしたら私の人生を大きく左右する事が、小学生、中学生の内に起きていたのではないかと改めておもいました。

高校生時代はバイクとスキーを覚え、ビリヤードもやっていて、高校生の頃入り浸っていました。四つ玉というのをやっていたのですが、やってらっしゃる方がいましたらもう一度やってみたいと思っています。バイクは原動機付自転車なんです、毎日乗るのが楽しくてあちこち走り回って遊んでました。学校の机の中にもツーリングマップを隠しておいて放課後にだして、今度の週末はどこに行く?と友達とやっていて凄く楽しかったです。スキーは高校生で車は無いので、ツアーで冬と春休みの時に行っていました。

高校生の時のエピソードですが、また大きな嘘をつくんです。嘘ばかり言ってるのですが…高校生の時はバイクの免許取ってはいけなかったんです。ある日学校の先生から呼び出されまして、「内藤お前バイク乗っとらんか?友達の親から通報があったぞ」と言われたので、私はそこでまた嘘をついたんです。乗ってもないし、免許を絶対持ってませんと言い張りしました。結局最後に先生から、免許を持っていたら退学します。と念書を書かされ、大人の世界を味わいました。一旦先生からの尋問から解放されまして、3日後にまた呼び出された際に「お前免許取りに行けただろ」と言われました。先生は警察に行って、調べてきて、免許を取った日にちまでも知っていたので、観念して免許持ってます。すみませんでしたと先生に謝りました。学校を辞めると念書で書いたのですが、先生も退学させるつもりはないものですから、無事卒業出来ました。その出来事から学んだことがあります。嘘をつく、バレたときに代償がかかるといことです。倍返しぐらいできたんですね。免許取ったこともバレましたし、免許を取りに行った日は学校がある日だったので、サボっていったこともばれたものですから先生に2倍で怒られました。無事卒業出来たのですが、停学の期間が2倍になってしまいました。

大学生の頃にやっていたことは、勉強をほとんどやらずにジャパレンターカー、飲食店、カラオケの機材の設置工事の手伝いなどのアルバイトをやっていました。大学生の頃は、スキーをしなくてました。当時、レガシーのツーリングワゴンという車に乗ってまして、私も同じ年代の方は分かると思いますが、調子こいてました。ビリヤード、パチンコなどアルバイトするか、遊ぶかのどちらかばかりでした。大学生時代に大きなエピソードがありまして、私はまた嘘をつくんですね。特大の嘘をつき、そこでまた学んだんです。最終の学びなんですけど、嘘はついちゃだめだということです。深く考えるとかそういうことではなく、嘘をついてはいけないということです。嘘をつくとも一番大切なものを失ってしまいます。人生最大の失敗が大学生時代にありました。

勤めていた頃やっていたことは、営業マン半年、ラーメン屋半年、お好み屋半年、ラーメン屋とたこ焼き屋半年、たこ焼き屋半年、居酒屋とカラオケボックスの複合店半年と、目まぐるしく部署が代わりました。そんな中たこ焼き屋さんをやっていたのですが、当時京大こというたこ焼き屋さんを知立の駅前にお店を出しまして、その時たこ焼き最初の月に1400万ほど売りまして、それで商売の面白さというか商売の虜になっていきました。

入社したきっかけになった課長がいます。当時、日本一カラオケの機械を売っている男と噂されておりまして、一緒に働きたいなどんな人なんだろうと思いい入社しました。そして、課長にくっついてカラオケの機械の営業をしたのですが、その時会社の中で問題が起きてまして、先程ラーメン屋さんをやっただけと言いましたが、ラーメン屋さんをオープンするときにスタッフがいつまでたっても決まっていなかったんです。その時に課長が、「誰も社員で行く人がいないなら俺がラーメン屋行たる」と営業を辞めてラーメン屋さんに行くこ

とになりました。そこで、課長と働きたくて会社に入ったので私もついて行くことになり、飲食の世界に私が飛び込んでいく形になりました。そこで飲食の面白さを学びまして、営業が優秀だった課長は3ヶ月で営業の部署に戻って私とはまた違う道に進むことになりました。

働いていたときに商売の面白さを知ったのですが、最後に社長とお店の運営でぶつかって、思っきり口論になりました。結局社長の方針を受け入れることが出来ずに、私は辞めてしまう形になりました。その時学んだことでは無いんですけど、自分の上に社長だとか誰かがいると自分の思い通りにならないので、自分でやるしかないなと学んだので今に至ります。

後、私が入社するきっかけになった課長は営業成績が抜群によかったんです。何故営業成績が良かったかと私なりに当時分析したのですが、結局、ただの負けず嫌いだっただけだと思います。営業のテクニックが凄いかと思っていたのですが、その課長は誰よりも負けず嫌いだっただけで売れていた理由だったんだな、と今でも思っています。

創業してからやってきた事は、東芝からだいたい仕事を頂いてやっていました。昼間は東芝の仕事をやりまして、夜は前勤めていた中日ジュウクのカラオケボックスの仕事をや請け負っていました。その他は、徐々に広がっていき自分のお客さんの仕事をだいたい東芝の仕事を終わった後の夜にやっていました。売り上げもだんだん伸びてきて、従業員も雇うようになり、規模も段々大きくなってきたのですが、基本的には冬は可能な限り二セコで生活をしていたのですが、どんどん減っていき最後は行けなくなってしまいました。

創業してからの大きなエピソードは、法人化をしたことです。理由は、中国人を雇いたくて個人ではだめだと言われたので法人にしました。孫さんという方に入ってもらったのですが孫さんは凄く優秀で、私の会社に入社して4年後に独立して、現在私の会社の協力会社であると共に、逆に孫さんから沢山仕事を貰っているんです。孫さんの会社の売り上げがぐーっと追いつけてきました、私の会社は抜かされるでしょう。そこでまた学んだことがありまして、人の人材が良いとその人材は伸びる。出来る人は出来るかと改めて思いました。それと同時に、自分の出来ること出来ないこと。あつという間に抜かされていくものだから、なんでもできるというわけではなく自分の器があるんだなと思いました。

これは個人的なエピソードなのですが、東日本大震災が起きたとき、二セコでスキーしてたんす。スキーを滑っているときに嫁から何回も電話が来ていて、鳴るのですが出ても繋がらなくて後に震災があった事を知りました。名古屋に帰って来た後はニュースばかり見ていました。春は空調屋さんは暇なのでニュースを見ていたら大変なことになっていて、いてもたってもいられなくなり、仲間の空調屋さんに助けに行こうよと声を掛けまして、ガソリンが手に入るタイミングで、ハイエースに瓦礫撤去できる機材を積み込んで助けに行ったことがあります。3年間くらい奉仕しまして、最後2年目はサービスカーなどプレゼントしました。なので、震災の時から去年までスキーをやっていないなっただけです。去年、仲間の設備屋さんに内藤さんスキー行こうよと誘ってもらいまして、去年スキーにはまってしまい、スキーをするのは11年ぶりぐらいですが50人ぐらいが出るレースに出場し、結果ドベ3ぐらいでしたが負けず嫌いなので更にスキーにはまってしまいました。今年はスキーのレース活動したいなと思っています。スキーのピチピチのレオタードみたいな服も買ってしまい、やる気満々です。

私の特技はたこ焼きを焼くことで、焼くのが凄く早いので機会があれば奉仕します。最近嬉しかったことは、RCの仲間になれたことと、20年ぶりぐらいにプライベートの車を新車で買ひまして、スズキのジムニーシエラを買ったことがとても嬉しかったです。

悩みはゴルフがまったくできなくて、皆さんゴルフされるのでどうしようかと思っています。

近藤さんとの出会いなのですが、共通の忘年会があり、偶然隣の席になりまして、「RCって知ってる?」と聞かれ、話している間に入会を決め、そのまま入れることになりました。堀さんにも推薦をいただいて、入ることができました。本当に感謝しております。ありがとうございます。

最後に、ロータリーは機会の扉を開くということで、私の機会の扉を開いていただいてありがとうございました。これからもよろしく願いいたします。

例会のご案内	
■今週の行事	10月8日(木) ガバナー公式訪問視聴会
■次週	10月15日(木) 定款により休会
■次々週の卓話	10月22日(木) テーマ：イニシエーションスピーチ 会員卓話：田中 英雄